

Marine Biopolymers
Alginate



株式会社 キミカ www.kimica.jp/

本社 東京都中央区八重洲2-4-1 〒104-0028 Tel. 03-3548-1941 Fax. 03-3548-1942 E-mail: tokyo-office@kimica.jp
大阪営業所 大阪市淀川区西中島3-23-16 〒532-0011 Tel. 06-6300-1310 Fax. 06-6300-1306 E-mail: osaka-office@kimica.jp
千葉プラント 千葉県富津市大堀1029 〒293-0001 Tel. 0439-87-1131 Fax. 0439-87-3613 E-mail: chiba-plant@kimica.jp

KIMICA America Inc.
Alginatos Chile S.A. [[Alchi](#)]
KIMICA Europe GmbH

キミカは、海藻から生まれる 安心の天然物質「アルギン酸」を 世界に供給しています。

天然物質「アルギン酸」の生産量、2014年世界第2位。

キミカのアルギン酸の国内シェアは80%以上を占めています。
(2015年1月現在)

会 社 概 要
商 号
株式会社キミカ KIMICA Corporation

設 立
1941年(昭和16年)5月
資 本 金
1億円
代 表 者
笠原 文善
事 業 所
本 社:東京都中央区
千葉プラント:千葉県富津市
大阪営業所:大阪市淀川区
サンチャゴオフィス:チリ・サンチャゴ／チリプラント:チリ・パイン

関連会社
株式会社大阪アルギン
KIMICA America Inc.
Alginatos Chile S.A. (Alchi)

会 社 沿 革

1941年 海藻の化学的高度利用を目的として
笠原文雄が君津化学研究所を設立
1942年 君津化学研究所を君津化学工業所に改称
1946年 君津化学工業所を株式会社に改組し
笠原産業株式会社とする
1947年 君津化学工業株式会社に改称
1958年 中小企業庁より
優良中小企業として表彰を受ける
1961年 発明協会より優秀発明賞を受賞
創業者・笠原文雄 アルギン酸の研究により
東京大学から工学博士の学位を授与される
1968年 アルゼンチンのロレンソ・ソリアノ社
との間に技術提供契約成立
1969年 韓国農漁村開発公社/韓国海藻加工(株)
との間に技術提供契約成立
1972年 アルギン酸プラント新工場建設
1973年 工学博士・笠原文雄 海藻の総合利用技術の
研究により紫綬褒章を受章
1983年 工学博士・笠原文雄
勲四等旭日小綬章を授章



豊かな海の恵みを科学するマリンバイオポリマーのキミカです。

キミカは、1941年、豊かな海の恵み“海藻”から「アルギン酸」の工業的製造に日本で初めて成功しました。以来65年、時代と社会のニーズに俊敏に対応しつつ、品質の向上や安定供給、関連製品の開発に努力を重ねてまいりました。

そして今、「アルギン酸」は私たちの暮らしや産業に欠かせない天然物質として、幅広い領域で多彩に活用されています。また、地球環境問題、あるいは健康問題に関心が高まる中、天然資源から精製される「アルギン酸」への需要と期待はますます膨らんでおり、マリンバイオポリマーのリーディングカンパニー・キミカに課せられた責務はますます増大しています。キミカでは、この時代の声に応えること、そして時代を先取することをめざし、安定した生産供給体制と研究開発体制を確立いたしました。

アルギン酸は今、食品、繊維製品、化粧品、医薬品など多彩な分野で活用されています。

また、さらに新しい領域へも新たな可能性が広がっています。その一つひとつを形にすることが、私たちの使命であり、社会貢献だと考えています。そして社会に貢献したいと願い、さらなる前進を続けています。



笠 原 グ ル ー プ
笠原工業株式会社(上田)
笠原工業株式会社(須賀川)
司 株式会社
信越電線株式会社
東信工業株式会社
糸魚川ティーケイ株式会社
山二発條株式会社
ケー・エス・ケー株式会社
花巻化成株式会社
ケー・デー・エル株式会社
美笠商事株式会社
KB FOAM INC
蘇州金柏精密机械
鈹子化成株式会社
ナチュラルジャパン株式会社

1985年 きのご用菌系活性剤「ケルビー」発売
1986年 動物用医薬品製造業の許可を受ける
1987年 チリにIndustrias Quimicas Kimitsu Chile Ltda.
を設立
1988年 チリにアルギン酸プラントを建設 操業開始
株式会社大阪アルギン設立
1993年 千葉プラントP G A ライン新設
1994年 千葉プラントケルビーライン新設
1995年 創立50周年記念事業「第二創業計画」実施
1996年 チリに海藻集荷加工会社「ALVA」を設立
1999年 チリプラントP G A ライン新設 操業開始
2000年 ISO9002認証取得
2001年 創業60周年を機に君津化学工業株式会社
から株式会社キミカに社名変更
北米現地法人 KIMICA America Inc. 設立
2002年 千葉プラントアルギンライン第一工場新設
2003年 ISO9001認証取得
2004年 資本金1億円へ増資
2005年 チリ海藻集荷加工業者「M2 S.A.」に資本参加
2006年 中国アルギン酸最大手
「青島明月海藻集団」に資本参加
2007年 医薬品製造業の許可を受ける
2009年 千葉プラント新管理棟竣工
2010年 本社を東京都千代田区内神田から
東京都中央区八重洲に移転
千葉プラントで太陽光発電を開始
2013年 日刊工業新聞社より
「ベスト・イン・ザ・ワールド」出版される
2014年 FSSC22000認証取得
千葉プラントに原薬製造第一工場新設
2015年 千葉プラント敷地拡張工事竣工
KIMICA Chile Ltda.から
Alginatos Chile S.A. (Alchi)に社名変更および改組

アルギン酸は、コンブ・ワカメに代表される褐藻類に特有な天然多糖類です。含有量は乾燥藻体の30%～60%を占め、いわばコンブやワカメの主成分で、天然の食物繊維です。藻体中でのアルギン酸は、海水中に含まれるさまざまなミネラルと塩を形成し、ゆるやかなゼリー状態で細胞間隙を満たしています。波に揉まれ海水中を揺らめきながら生長する海藻のしなやかさは、このアルギン酸がもつ独特な物性によるものといわれています。

アルギン酸は、1883年スコットランドの化学者E.C.C.Stanfordにより初めて単離、命名されました。以来、多くの研究が重ねられ現在ではハイドロコロイドとして多種多様なアルギン酸およびその誘導体が食品・医薬品・化粧品・繊維加工その他幅広い用途に活用されています。

また、キミカでは、カニやエビなどの甲殻類に含まれる“キチン”“キトサン”に関する研究・製品開発も行っています。“キトサン”は実用に供される唯一の天然ポリカチオンとしてその機能の多様性に熱い視線が注がれています。

キミカは、これらの天然素材を活かした研究開発によって、みな様の豊かな暮らしのお役に立てて行きたいと願い、努力してまいります。

アルギン酸を中心に、弛まぬ研究・開発をしつづけていきます。

Development & Manufacturing

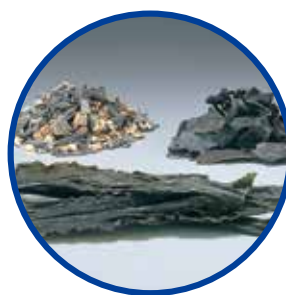


アルギン酸ナトリウム
キミカアルギンI
キミカアルギンB
キミカアルギンULV
キミカアルギンHigh・G
アルギテックス
シリーズ



アルギン酸
キミカアシッドG
キミカアシッドSA

アルギン酸エステル
キミロイド
シリーズ



その他の塩類
キミカアルギン K
キミカアルギン Ca
キミカアルギン NH₄
キミカアルギン Zn



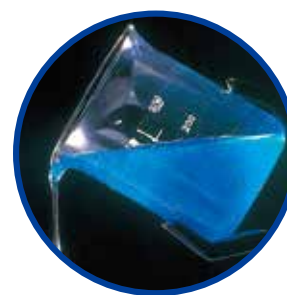
アルギン酸関連製剤
アルゲル
ゲルバインダー
ラミドール／ラミゼル
アルギロン
動物用医薬品
ブロサポ



菌糸活性剤
ケルピン
発酵海藻パウダーで
土壌改良!
海力No.1
かいりき 海洋バイオ



高品質
「アルギン酸」新製品
昆布酸
KONBUSAN KIMITSU
SKat
クリア アルギン スカット



カニやエビなどの
甲殻から
高品質の新素材
キチン
キトサン



アルギン酸は、幅広い分野で豊かな暮らし作りに貢献しています。

Application



ビールの泡をきめ細やかにを安定・保持させるためにもアルギン酸が用いられています。



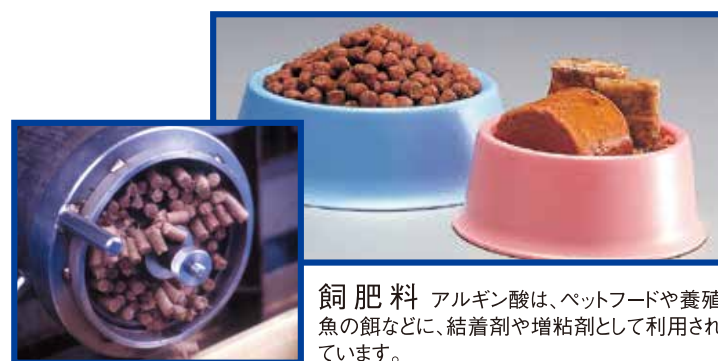
化粧品 化粧品にさまざまな機能を満たせるためアルギン酸が利用されています。「落ちない口紅」やクリーム、ファンデーションなどにフィルム形成や増粘の目的で配合されます。



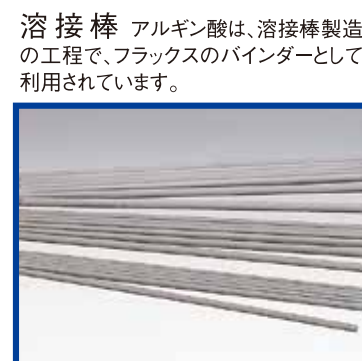
捺染用糊料 服地やスカーフをカラフルにプリントするため、カラーペーストの増粘剤として、特に天然繊維のプリントに欠かせない糊料となっています。



医薬品 錠剤の崩壊剤、消化管内壁の保護材などとしてアルギン酸が使用されています。また、歯の型取りをするアルジネート印象剤はアルギン酸が主成分です。



飼肥料 アルギン酸は、ペットフードや養殖魚の餌などに、結着剤や増粘剤として利用されています。



溶接棒 アルギン酸は、溶接棒製造の工程で、フラックスのバインダーとして利用されています。



食品 アルギン酸は、増粘剤、ゲル化剤、乳化剤、安定剤、麺質改良剤など食品の品質向上に優れた機能を持っています。アイスクリーム、ゼリー、パン、乳酸菌飲料、ドレッシング、即席麺、ビールなどさまざまな食品に利用されています。アルギン酸はFAO/WHO合同食品添加物専門委員会において最も安全な物質との評価を得ています。



ここに掲載された製品は一部です。その他にもたくさんの分野で幅広く活用されています。